

総合的な仕様等

CBRとVBRって何？

弊社製品では、主にIPカメラの映像設定にて見られる項目です。

CBR(固定ビットレート: ConstantBitRate)

VBR(可変ビットレート: VariableBitRate)

映像に使用するデータ量を、"一定"にするか"状況に応じて増減(変)"させるか、という設定になります。

それぞれ一長一短がありますので、ご使用状況に応じてご設定下さい。

CBR:

[長所] 録画期間の予測が立てやすい。

決まったビットレートで伝送するので、計画的に録画が可能です。

例えば「2週間分の録画をしたい」と決まっている時、2週間分の録画を確保しつつ、画質やコマ数等の設定もしやすくなります。

[短所] データに無駄が出やすい。

動きが激しい場合や動きが少ない場合も一律のビットレートで伝送する為、

本来もっとビットレートを上げたい被写体

ほとんど動きが無くデータとしては小さくても済む状況等でも

一定の伝送をし続けます。

VBR:

[長所] 容量あたりの録画時間が長く確保。

状況に応じて変えることで、必要な時に必要なデータ量だけを使用します。

効率的に録画をすることで、CBRよりも録画期間は長く撮れる傾向があります。

[短所] 録画期間の予測が立てにくい。

例えば、人や物の動きが激しい、屋外であれば風が強い、雨が降っている等でもデータ量は変化します。

『どのくらい撮れるかは撮ってみなければわからない』設定は言えます。

期間を決めずとりあえず撮っておく、という運用であれば、この短所はあまり問題にならない場合があります。

一意的なソリューション ID: #1929

製作者: jss

最終更新: 2020-12-14 07:29